

東京

※2026 年春実施の全国公立高校入試情報は、2025 年 12 月 9 日現在によるものです。

1. 日程

[推薦入試]

○検査

1/26(・27)

○合格発表

2/2

[第一次募集]

●学力検査等

2/21

○合格発表

3/2

[第二次募集][追検査]

○学力検査等

3/10

○合格発表

3/13

2. 学力検査

[第一次募集]

国語：50 分・100 点

数学：50 分・100 点

英語：50 分・100 点

理科：50 分・100 点

社会：50 分・100 点

<500 点満点>

→700 点満点に換算(芸術及び体育に関する学科は 600 点満点)。

※傾斜配点を実施する高校あり。→「備考」参照。

※一部の高校では 5 教科中、国・数・英の 3 教科について、自校作成問題で実施。→「備考」参照。

※芸術及び体育に関する学科は、実技検査が必須で、学力検査は国・数・英の 3 教科。

※面接、小論文(作文)、実技検査を課す高校あり。

○英語聞き取りあり

○国語課題作文あり(例年)

[第二次募集]

国・数・英の 3 教科。各 50 分・各 100 点

<300 点満点>

→600 点満点に換算。

※傾斜配点を実施する高校あり。→「備考」参照。

※面接, 小論文(作文)を課す高校あり。

3. 調査書

[評定の記載方法]

○3 年…5 段階(絶対評価)

[調査書点の算出方法：学力検査に基づく選抜]

各受検者の評定の得点×(各校の調査書点の満点÷評定の満点)

※調査書点の満点は評定の満点を換算したもの。

※各受検者の評定の得点

・学力検査 5 教科の場合

英数国社理×1+その他の 4 教科×2

(満点は 65 点)

・学力検査 3 教科の場合

英数国×1+その他の 6 教科×2

(満点は 75 点)

※各校の調査書点の満点

学力検査点+調査書点=1000 点満点

調査書点の比率が 3 の場合, 調査書点の満点は 300 点に換算。また, 比率が 4 の場合, 同様に 400 点に換算する。

4. 合否判定

[調査書と学力検査の比重]

第一次募集は原則 3 : 7, 第二次募集は原則 4 : 6。

芸術及び体育に関する学科はどちらの募集も 4 : 6。

[判定方法]

①既定の調査書と学力検査の比率をもとに, 調査書点と学力検査の得点(傾斜配点を行う教科は傾斜配点を行った得点)の合計が 1000 点満点(総合得点)になるようにそれぞれ換算する。

第一次募集では, 上記に点数化したスピーキングテストの得点(20 点満点)を加えた得点を総合得点(1020 点満点)とする。

②①の総合得点に面接等の点数(総合成績に加える項目→「備考」参照)を加算して総合成績を求め, その他の資料と合わせて総合的に判定する。

5. 推薦入学等

■推薦入試

一般推薦，文化・スポーツ等特別推薦(特別推薦)・理数等特別推薦(特別推薦(理数))

中学校長の推薦を受けた生徒が応募できる。

調査書点は，観点別学習状況の評価(全 27 観点)を点数化した数値，または各教科(9 教科)の評定の合計点(満点 45 点)のどちらか一方を換算して使用(ほとんどの高校は評定の合計点)。

自己PRカードを提出。

☐一般推薦

全高校・全学科で実施(島しょ部，大島・三宅・八丈の併合科を除く)。

志望する高校の学科内に 2 科(2 分野)以上ある場合(芸術に関する学科を除く)は，第 2 志望を指定できる。

[検査内容](原則)

個人面接，《集団討論，小論文または作文，実技，学校設定検査のうち一つ以上》

※第 1 志望・第 2 志望で検査の課題が異なる場合は，それぞれの課題を課す。

[定員に対する比率]

○普通科…20%

○専門教育を主とする学科…30～40 %

○普通教育を主とする学科(コース)，総合学科…10～30%程度

☐特別推薦

志望する高校の 1 コースまたは 1 科(1 分野)に出願する。

当該高校の一般推薦にも出願できる。この場合，出願方法は，一般推薦の出願方法による。

[検査内容]

個人面接または集団面接，実技

※ 一般推薦も志願する者は，一般推薦での検査も課される。

[募集人数]

1 競技につき 1～20 人

☐特別推薦(理数)

1 校 1 科に限り出願。他の推薦選抜には出願できない。

科学分野等の研究に関するレポートも提出。

[検査内容]

科学分野等の研究に関するレポートについての口頭試問，個人面接，小論文

[募集人数]

立川…6 人，科学技術…8 人

■国際の国際バカロレアコース・4 月入学生徒の選抜

日本人生徒・外国人生徒

[日程] 推薦入試と同日

[検査] 英語運用能力検査，数学活用能力検査，小論文，個人面接

■海外帰国生徒等入学者選抜

※第一次募集・分割前期募集にも出願できる。

○海外帰国生徒

三田，竹早，日野台，国際

自己 PR カードを提出。

[日程]・検査 2/16

・発表 2/18

[検査]国(作文を含む)・数・英，面接

○引揚生徒

深川，光丘，富士森

自己 PR カードを提出。

[日程]・検査 2/16

・発表 2/18

[検査]作文，面接

○在京外国人生徒・4 月入学生徒

竹台，田柄，南葛飾，府中西，飛鳥，六郷工科，杉並総合，国際，一橋，浅草，荻窪，砂川

パーソナル・ヒストリーを提出。

[日程]国際以外 ・検査 1/26

・発表 2/2

国際 ・検査 2/16

・発表 2/18

[検査]作文，面接(どちらも日本語または英語を選択できる)

6. 備考

面接実施校の志願者は自己 PR カードを提出。

志望する高校の学科内に 2 科(2 分野)以上ある場合，芸術に関する学科を除いて，他のすべての科(分野)に志望順位をつけて出願することができる。また，立川の理数科を第 1 志望とする者は同校の普通科を，科学技術の理数科を第 1 志望とする者は同校の科学技術科を，第 2 志望とすることができる。

第一次募集で，中学校英語スピーキングテストの結果を活用。A～F→20 点～0 点(4 点刻み)

■第二次募集

第一次募集で募集人員に達しない学校が，第二次募集を行う。

■分割募集について

令和 7 年度まで実施していた分割募集が，令和 8 年度から変更される。

全日制課程…分割募集を廃止し，第一次募集で選抜する。

昼夜間定時制…一橋・八王子拓真，浅草，荻窪，砂川は，引き続き，一般選抜の募集人員を前期と後期の 2 回に分けて募集する。

※追検査

インフルエンザ等の感染症罹患等により第一次募集を受検できなかった受検者の選抜を，第二次募集と同じ日程・検査で行う。追検査に申請した人が申請を取り下げて，第二次募集に出願することはできるが，その出願を取り下げて追検査に再提出することはで

きない。

推薦入試，海外帰国生徒対象の入試などでは，追検査は実施しない。

学力検査問題は，第二次募集と同一。

[総合成績に加える項目]

《面接，作文または小論文，実技検査》

第一次募集・第二次募集の，それぞれ実施する高校のみ。各満点は高校が決める。

[学力検査問題の自校作成(第一次募集)]

・国・数・英 3 教科を自校作成…日比谷，戸山，青山，西，八王子東，立川，国立，新宿，墨田川，国分寺

・英を自校作成…国際

[学力検査の傾斜配点]

■第一次募集

○深川・小平の外国語コース，国際の国際科…英×2

○松が谷の外国語コース…国・英×2

○科学技術の創造理数科，科学技術・多摩科学技術の科学技術科…数・理×1.5

○大田桜台のビジネスコミュニケーション科…国・英・社×1.5

○千早のビジネスコミュニケーション科…国・英×1.5

■第二次募集

○深川の外国語科…英×2

○松が谷の外国語科…国・英×2

○小平の外国語科…英×1.6